







# 製品安全データシート

危険記号	保護具	記号
 	   	規定されていません

発行日 2015年1月29日

改訂日

改定番号

## 1. 製品及び会社情報

製品名	G66976
製品コード	12060
推奨用途	人に使用しないこと。 研究上の使用のみ。
<b>会社</b>	
CSTジャパン株式会社 東京都千代田区内神田1-6-10 TEL: 03-3295-1630	
登録番号	S034

## 2. 危険有害性の要約

### GHS-分類

#### 注意喚起語



#### 危険、警告



#### 危険有害性情報

- 飲み込むと有害。
- 眼刺激を起こす。

急性毒性(経口)	区分3
目に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分2B

### 物理化学的危険性

#### 注意書き:

- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 口をすすぐこと。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 施錠して保管すること。
- 内容物／容器は、承認された廃棄物処理設備で処分すること。

### 3. 組成、成分情報

製品タイプ 単一物質

#### 危険有害成分

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
12-(2-シアノエチル)-6, 7, 12, 13-テトラヒドロ-13-メチル-5-オキソ-5H-インドロ(2, 3-a)ピロロ(3, 4-c)カルバゾール	>99%	CH <sub>24</sub> H <sub>18</sub> N <sub>4</sub> O			136194-77-9

### 4. 応急措置

目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動すること。症状が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識のない人の口には何も与えないこと。直ちに医師に連絡すること。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。
応急処置をする者への指示	さらに措置が必要であれば、毒物管理センターに連絡すること。個人用保護具を着用すること。

### 5. 火災時の措置

消火剤	周辺状況と周囲環境に応じて適切な消火手段を使う。
不適切な消化剤	水噴霧は効果がない可能性がある。
火災による特別な危険有害性	情報なし。
消防士のための保護設備及び予防措置	自給式呼吸装置と保護服を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

## 6. 漏出時の措置

封じ込めおよび浄化の方法および機材 適切な保護具を使用し、飛散したものを掃き集めて密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策

環境規則に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<b>技術的対策</b> <b>局所排気・全体換気</b> <b>安全取扱い注意事項</b>	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 眼、皮膚との接触を避けること。 飲み込まないこと。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。
保管	<b>接触回避</b> <b>混触危険物質</b> <b>保管条件</b> <b>容器包装材料</b>	データなし データなし よく換気された冷暗所に施錠して保管すること。 データなし

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 暴露ガイドライン

この製品はあらゆる職業ばく露限界で規制された有害物を含まない。

### 設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

### 保護具

目/顔面の保護	サイドシールド付き安全眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	保護手袋。保護衣。
呼吸器の保護具	保護マスク。

### 適切な衛生対策

正しい産業衛生と安全規定に従って取扱う。

## 9. 物理的及び化学的性質

物質の状態	固体	
物理的状態	粉末	
色	黄色がかった白、淡黄色	
臭い	情報なし	
臭気の閾値	情報なし	
pH	データなし	
融点/凝固点	308-320°C	
沸点・沸騰範囲	情報なし	
引火点	情報なし	
蒸発速度	情報なし	
空気中での可燃性限界	上データなし	下データなし
蒸気圧	情報なし	

## 9. 物理的及び化学的性質

蒸気密度	情報なし
比重	情報なし
水溶性	難溶解性
溶解性	情報なし
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
自然発火温度	データなし
分解温度	情報なし
爆発特性	情報なし
酸化特性	情報なし
分子量	378.43 g/mol
粘度	情報なし
密度	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
安定性	推奨の保管条件下では安定。
危険有害な分解生成物	通常使用下ではない。
避けるべき条件	情報なし。
混触禁止物質	特に言及するべき物質は無し。
危険有害な分解生成物	通常使用下ではない。

## 11. 有害性情報

### 製品情報

急性毒性	吸入 眼に対する影響 経皮 経口	粒子の吸入により上気道の炎症をひき起こす可能性がある。 炎症を引き起こす可能性あり。 炎症を引き起こす可能性あり。 飲み込むと有害。
------	---------------------------	---

毒物学的影響 毒物学のおよび生理学的性質は定義されていない。

### 慢性毒性・長期毒性

症状	情報なし。
感作性	情報なし。
変異原性影響	情報なし。
発がん性	この製品には既知の発がん性化学物質は含まれていない。
発生毒性	情報なし。
標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	情報なし。
標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)	情報なし。
神経疾患	情報なし。
吸引性呼吸器有害性	情報なし。

## 1 2. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性の報告はない。

### 残留性/分解性

情報なし。

### 生体蓄積性

情報なし。

### 移動性

情報なし。

## 1 3. 廃棄上の注意

### 残留物/未使用製品からの廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

### 汚染容器・包装

下水道に排出せず、安全な方法で製品と容器を廃棄してください。

## 1 4. 輸送上の注意

### IMDG/IMO

規定されていません。

### ICAO

規定されていません。

### IATA

規定されていません。

### DOT

規定されていません。

### TDG

規定されていません。

### MEX

規定されていません。

### RID

規定されていません。

### ADR

規定されていません。

### ADN

規定されていません。

## 1 5. 適用法令

### インベントリー情報

TSCA	登録なし
EINECS/ELINCS	-
DSL/NDSL	登録なし
PICCS	-
ENCS	-
IECSC	-
AICS	-
KECL	-

### 説明

TSCA - 米国：有害物質規制法 セクション8 インベントリー

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州届出化学物質リスト

## 15. 適用法令

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/カナダ非国内物質リスト

PICCS - フィリピン化学品及び化学物質インベントリー

ENCS - 化審法

IECSC - 中国既存化学物質目録

AICS - オーストラリア既存化学物質リスト

KECL - 韓国既存化学物質目録

毒物及び劇物取締法: 劇物 (指定令第2条32の劇物) (有機シアン化合物)

## 16. その他の情報

改訂日

改定メモ

推奨される制限

### 免責条項

このMSDSの情報は、その公開の時点において弊社の有する知識、情報及び見解の限りにおいて作成されています。提供した情報は、安全な取り扱い、使用、加工、貯蔵、輸送、廃棄及び放出のためのガイドのみを意図としたものであり、品質を保証しているものではありません。この情報は指定した特定の物質のみに関するものであり、他の物質とともに使用する場合、または他のプロセスで使用する場合はこのMSDSに記載のない限り適用されないことがあります。